



カズヒロ通信



無所属刷新の会川越支部 川越市新富町1-18-6 戸田本川越ビル3F
TEL: 049-222-1411 FAX: 049-222-1444 HP: http://www.kfunabashi.com

NEXT GENERATION

平成21年度 埼玉県議会 9月定例会 一般質問へ登壇

9月定例会報告

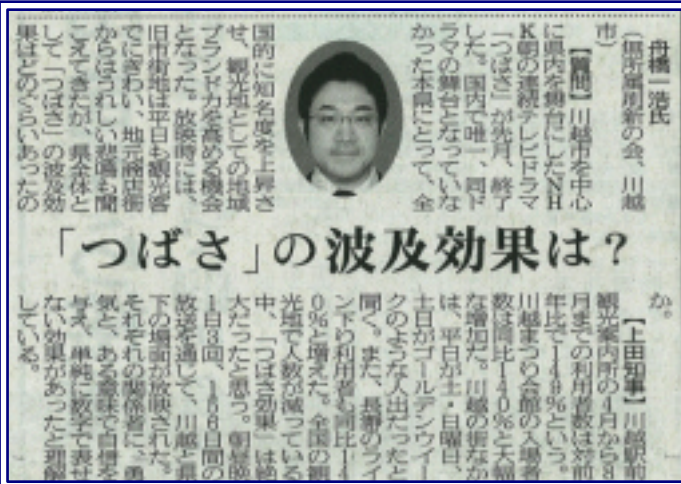
本年度、埼玉県議会9月定例会におきまして、我が会派無所属刷新の会を代表し、議員になって二度目の一般質問を行いました。今回の質問に際しましては、主に、政権交代における国と地方の在り方について、埼玉の観光振興について、自殺防止対策や特別支援学校における取り組み、県における動物愛護の推進などについて質問いたしました。

今回の政権交代に対して、上田知事は、「常に政権交代可能性のある状況が必要だ」という私の持論が、これで定着する可能性が出てきた」と語り、「ハツ場ダム問題にみる国と地方の在り方」については、「ハツ場ダム問題に関して言えば、地域主権という考え方はほど遠い動きが今のところは起こっている。あくまで埼玉県の権益並びに、地元の皆様達のこれまでの苦労を考えると、ハツ場ダムは必要なものとして、継続のための訴えを続けていきたい」と答弁されました。また、観光振興での「つばさ」の波及効果と今後の対応では、「川越駅前観光案内所の四月から八月までの利用者数は対前年比で一四九%、川越まつり会館の入場者数は前年比一四〇%と大幅な増加となり、また長瀬のライン下りの利用者も前年比一四〇%と増え、全国の観光地で人数が減っている中、つばさ効果は絶大だった」と話し、今後県と関係市町と県内鉄道会社で「つばさフォーアアップ会議」や「川越・秩父連絡会議」などを開き、例えば長瀬と川越、巾着田と川越などセットメニューや、秩父、川越の知名度の高さをセットで考え、提案しながら会議を起こして様々な事業の推進を考えていると答弁されました。

平成二十一年九月定例会は、九月二十四日に開会し、総額三百八十億五千三百九十二万円の一般会計予算案及び議案二十六件を可決し、十月十五日に閉会致しました。

埼玉県議会議員

舟橋 一浩



- ### 一般質問・質疑内容
- 1 政権交代について
 - (1) 政権交代に対する所感について
 - (2) 官僚依存から政治主導への転換について
 - (3) ハツ場ダム問題にみる国と地方の在り方について
 - 2 観光振興について
 - (1) 連続テレビドラマ小説「つばさ」の波及効果とポスト「つばさ」の対応について
 - (2) 「True Japan 埼玉」の事業効果について
 - (3) 「広域観光圏」構想について
 - (4) 民間活力の導入について
 - 3 自殺防止対策について
 - 4 迅速な警察活動の確保について
 - 5 消費者庁発足に伴う県の対応について
 - 6 電気自動車の普及に向けた取組について
 - 7 特別支援学校における取組について
 - (1) 障害児学童保育室の設置について
 - (2) 特別支援学校のセンター的機能の更なる充実について
 - (3) 就労に向けた積極的な取組について
 - 8 動物愛護の推進について
 - 9 地元問題について
 - (1) 西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の整備について
 - (2) 都市計画道路川越上尾線の整備状況について

埼玉県議会 無所属刷新の会 上田知事へ予算要望書を提出

無所属刷新の会は、平成21年11月11日に平成22年度の県政要望書を知事へ提出しました。今年度は昨年よりも項目が増え、すべてで154項目に上る予算要望書となりました。地元川越に関する問題につきましては、川越市の意向を反映し以下の項目について県へ要望いたしました。要望内容によっては、今回の一般質問にも盛り込んだ内容もありますので、現時点での県の対応状況についても併せて明記致しました。

札の辻、連雀町、松江町、市役所及び教会前交差点改良事業の促進 埼玉県建築物耐震改修事業の対象区域の拡大 県立特別支援学校在籍児童のための障害児学童保育室の県立特別支援学校内への設置 (県の対応状況)

県では特別支援学校の施設を使って学童保育室を運営しようとする者には協議の上、学校教育活動に支障のない範囲で施設利用ができるようにしております。また、体育施設の利用も許可しております。今年4月に開校した上尾かしの木特別支援学校を含め、現在6校で施設の一部を利用いただいております。今後新設する特別支援学校においても、障害児学童保育室を設置する希望がある場合には、可能な限り、施設の活用に努めてまいります。

地元地域と一体となった西部地域ふれあい拠点施設(仮称)整備事業の推進 (県の対応状況/抜粋)

現在川越市とともに事業再開に向けて建設会社や不動産会社などを訪問し、事業への理解とより良い事業とするためヒアリングを行っておりますが、現状では、多くの民間事業者が提案にかなり慎重な姿勢を示しております。今後の事業展開の推進につきましては、民間事業者の動向や経済情勢も見極めながら川越市と検討をしてまいります。

